



北海道議会議員

がんばろう
小樽・北海道

ただひろ
佐藤 禎洋

令和2年10月号

発行/佐藤禎洋 政務調査室

第3回定例会・予算特別委員会、道の課題について質す

○道議会第3回定例会予算特別委員会にあたって。

主な質問項目

①新型コロナウイルス感染症について

感染症の拡大防止対策を効果的に実施していくためには市町村との今後の連携が重要であり、道と適切な役割分担の下で対策に当たらなければならない保健所設置市との連携を特に図っていく。



②北海道総合計画について

新型コロナウイルス感染症が現在も広がっており、現時点でその収束を見通すことが極めて困難な点。現在生じている様々な社会経済環境の変化が今後恒久的なものか、感染症収束後は元の状態に戻るものなのか見極めること。道は、総合計画の見直し検討に当たり、どのような変化が永続的なものとして重視していく。



③官民連携の推進について

ほっかいどう応援団会議の取組の中で企業版ふるさと納税等を活用し寄付や出資等を集め稼ぐ道政、攻めの道政を進める考えが示されているが、道に対する企業からの企業版ふるさと納税の実績はどのようになっているのか、ほっかいどう応援団会議は、ふるさと納税にどのように役に立ったのか。

令和2年度自民党道連団体政策懇談会に出席！

10月7日(水)～9日(金)に令和2年度団体政策懇談会に出席した。道議会にて北海道バス協会や北海道商工会議所連合会等からの要望を受けた。



後志地方議員連絡協議会会長として道・道議会に要望書手交



10月2日(金)、後志地方議員連絡協議会会長として中村吉宏幹事長・松岩一輝事務局長とともに北海道の中野副知事、村田憲俊道議会議長あてに要望書を手交した。今年度末で期限である過疎法について、後志管内の過疎地域が、今後も機能や役割が発揮できるよう、新法の対象とすることで必要な行政サービスを行うための財源を安定的に確保するため、地方交付税の充実や過疎対策事業席の拡充と必要額を確保する事を国に求める要望した。



第42回全国公民館研究集会北海道大会・第64回北海道公民館大会

10月6日(火)～7日(水)壮瞥町にて「第42回全国公民館研究集会北海道大会・第64回北海道公民館大会 in そうべつ」に参加した。自然災害に対応する公民館活動を果たす役割を考え直すことで「公民館が担う役割・方向性」について全国、全道の公民館関係者が一同に会し研究協議を行った。今回は、高校生にリモートで会議に参加してもらい、貴重な意見をいただきき充実した大会となった。



(講師の文部科学省 武藤久慶高等教育局企画官・高等教育政策室長と旧交をあたためる)